



はぎのだい

学校だより 4月②号

【校訓】 自学 誠心 敬愛

平成30年4月18日(水)



津幡町立萩野台小学校長 宗廣 進一

学校生活が軌道に乗り始めました

平成30年度の学校生活が始まって半月が経ちました。学校では様々な活動に目を輝かせて取り組んでいる子ども達です。ご家庭の様子は如何でしょうか？

入学式では新1年生をはじめ全校児童に3つのことをがんばって生活して欲しいと話しました。

その①自分から進んで挨拶すること。社会性の基礎基本と考えます。

その②本を読むこと。たまにはテレビを消して本を読む環境を定期的につけてあげてください。今月は21(土)を「ファミリー読書の日」にして宿題も少なめにします。本は考え方や生き方の道しるべになりますし、言語力ひいては思考力を高める効果もあります。また、たとえ本を手にとらなくても、周りから聞こえる虫や鳥などの声や風水の音など自然を身近に感じる事ができますし、静かな中にいるとひとりですいろいろなことが頭に浮かんで思考力も高まります。そして、このような時間は心を豊かにするのではないのでしょうか。

その③自分に出来ることは自分ですること。難しいことではないのに周りの大人がついてしまい、子どもの能力を発達させていないことは多いものです。「使ったコップや道具を片付ける」「約束の就寝時間になったら寝床に入る」「自分の洗濯物をたたんで箆笥にしまう」など面倒くさいことでも、話し合って約束し、行動させていきたいものです。自立の能力を育てていきましょう。



「歩いて校門をくぐる子ども達が増えましたよ」

このところ、登校時に歩いて登校する子ども達が増えました。小さいお子さんと一緒に歩いてくださるお母さんもうらっしゃいます。頼もしくほほえましい姿に保護者の方々や地域の皆さまのご努力とご協力を感じ、頭が下がります。ご自宅が遠いお子さんの中には、行程の途中からがんばっている歩いている小さい子もいて、その心に拍手をおくっています。

「人の一生は重荷を負うて遠き道を行くがごとし」(徳川家康)

これからの世の中を生き抜くたくましい心の素地を育ててあげるのは大人の務めだと考えています。

< 生活目標に取り組んでいます >

学校では子ども達の社会性が高まるよう、月毎にテーマを設定し、基本的な生活習慣について指導しています。

今年度の計画は右の表の通りです。

4月のテーマ **あいさつ** は今後、9月、1月にも更にステップアップを期して取り組みます。

このところの取組でさっそく成果が現れ、朝の玄関では「〇〇先生、おはようございま〜す！」と、笑顔とともに大きな声で子ども達のエネルギーが飛び交い、私たち教職員も爽やかな気持ちで一日がスタートでき、感謝しています。

また、帰宅時には「〇〇先生、さようなら〜！」くたびれかけた心にまたエネルギーを注いでくれます。

この成果を起点にして、色々な場面で、色々な人に、色々なあいさつの言葉を交わし、心をつなげられる人になってほしいと願って取り組んでいます。ご家庭、地域でも、一人ひとりの能力が高まるよう、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

4月	笑顔であいさつをしよう。
5月	ていねいなことばづかいをしよう。
6月	友達の良さを見つけよう。
7月	自分の仕事を忘れずにしよう。
9月	自分からあいさつをしよう。
10月	時と場に応じたことばづかいをしよう。
11月	友達に温かい言葉をかけよう。
12月	自分の仕事を最後までしよう。
1月	相手に伝わるあいさつをしよう。
2月	友達にありがとうを伝えよう。
3月	一年間を振り返ろう。

春の学力調査を実施しました

今週初めに、本校でも下記の通り、学力調査（全国、県、町）を実施しました。

この調査は、学習指導のさらなる改善を目的とし、今後の指導計画作成の資料として、また、それぞれの子どもの弱点克服に活用していきます。

4年生・・・国語、算数、質問紙

5年生・・・国語、算数、理科

6年生・・・国語、算数、理科、社会、質問紙

国語や算数等の主要各教科の結果が気になるところですが、それもさることながら、個々の意識や考え方、生活習慣などについて回答してもらった質問紙調査の結果を大切にしたいと考えています。

質問紙調査のほんの一部を紹介すると、例えば下記のような質問(ゴシック体)があります。

(→ の部分は校長の思いです)

1. 自分には良い所があると思うか

→ 自分の良い所を認められる人は友達の良い所も認めることができるので、人と助け合うこともでき、自信を持ってたくましく生きていく力や自身の個性・能力を伸長する努力にもつながります。そういう意味で、自己肯定感を育むことは大切です。

2. 将来の夢や目標を持っているか

→ 将来に向けて、今、がんばることにつながります。そういう意味で、自分の良さや個性に気づき夢を育み目標をもたせるための「キャリア教育」が大切です。

3. 人の役に立つ人間になりたいと思うか

→ 感謝の心を持ち、人や社会とつながり、自分の力を役立てるための個性伸長の努力につながります。本校校門の傍らに「誰でも天分を持っている」の石碑があります。

4. 朝食を毎日食べているか

→ 朝食は体温を上げて身体をスタンバイさせ、脳をはじめ身体各部にエネルギーを供給します。これにより学習効率もあがります。「早寝・早起き・朝ごはん」は大切です。

5. 毎日、同じくらいの時刻に寝ているか、また、起きているか

→ 生活リズムを整えることは、身体及び脳の能力を高めると同時に、個が持つ能力を発揮し易くします。成長期に毎日続けた時とそうでない時の能力向上の差はあきらかです。

6. 放課後、週末には何をして過ごすことが多いか

→ 運動が脳に良い影響を与える(頭が良くなる)ことが近年の研究によって明らかになってきました。特に成長期の子ども達は、継続的に適度に運動することが大切です。

7. 算数(理科)の勉強は大切だと思うか、また将来、社会に出た時に役に立つと思うか

→ 学校で学習する教科にはそれぞれに目標があり、どれも社会で生きる能力やたくましく豊かな人間性を育てるためには大切です。そのことを理解していることにより学習に向かう姿勢が違ってくることはあきらかです。周りの大人が伝えていく必要があります。

これら質問紙調査の結果が向上するように努力することで、長い目で見れば、主要各教科の結果も良くなっていくと考えています。

学校はこれらの結果が向上するように、家庭や地域とより一層信頼関係を深め、連携して子ども達を育てていこうと考えておりますので、何卒、ご理解とご協力をお願い致します。